

公的個人認証 利活用ユースケースのご紹介

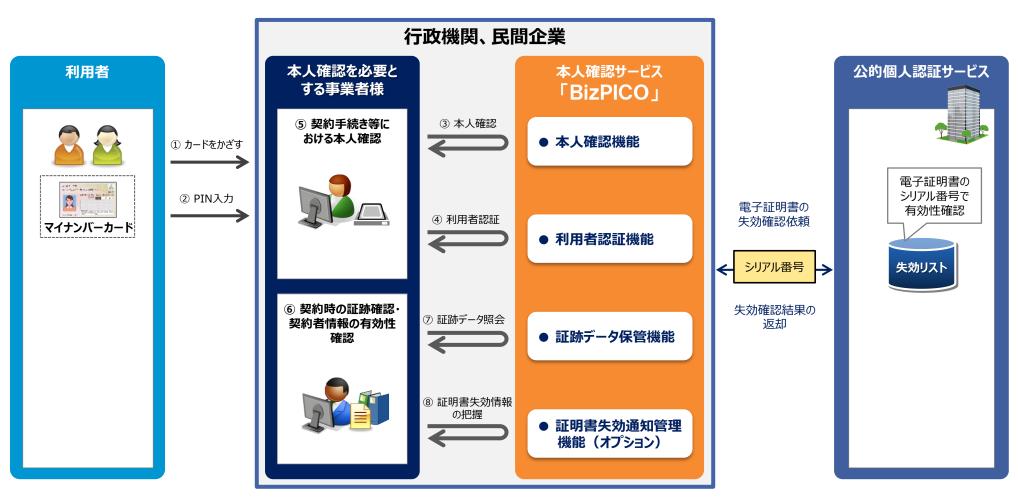
平成28年4月21日 株式会社NTTデータ



1. 本人確認サービス「BizPICO®」ご紹介



- ・マイナンバーカードのJPKI-APを利用し、オンラインで本人確認、利用者認証を行います。
- ・公的個人認証の電子証明書は証跡として保管し、証跡データ照会を可能とするとともに、証明書失効情報の照会により、利用者の住所・生存情報の変更可能性を通知します。
- BizPICOは利用ガイドラインに基づくセキュリティ対策を施した「プラットフォーム事業者」として認可を得る予定としています。(2016年第2四半期サービス開始予定)

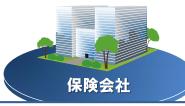


2. 本人確認サービス「BizPICO®」の想定される利活用フィールド





・カード申込時の本人確認・クレジットカード代わり



- ・保険申込時の本人確認
- ・私的年金支払時の現況確認



- ・携帯電話申込時の本人確認
- ・コンテンツ利用時のセキュリティトークン



- ・銀行口座開設時の本人確認
- ・インターネットバンキングのセキュリティトークン
- ・キャッシュカード代わり



- ・公的サービスや民間サービス利用時の本人確認
- ・チケット代わり



マイナンバーカードで あらゆる本人確認・利用者認証を セキュアに便利に!!





・健康保険証代わり



- ・チケット購入時の本人確認
- ・チケット代わり



・商品購入時のセキュリティトークン



- ・口座開設時の本人確認
- **| ・オンライントレードのセキュリティトークン**

3. 公的個人認証民間利活用 利用ユースケースとメリットについて



弊社にて認識している公的個人認証民間利活用における、具体的な利用ユースケースとメリットは以下の通りです。

項番	業界	ユースケース	メリット
1	金融·証券	口座開設時本人確認 (インターネット口座開設)	コスト削減 利便性向上 手続時間短縮
2		ローン契約時本人確認及び住所異動検知	確実な本人確認 手続時間短縮
3	クレジットカード	申込時本人確認	コスト削減 手続時間短縮
4	通信•放送	行政サービスの利用者認証 (自宅での行政サービス享受)	利用者利便性向上
5	保険	現況確認	コスト削減 利用者利便向上
6	エンタテイメント	チケットレスサービス	ダフ屋行為防止 利用者利便向上

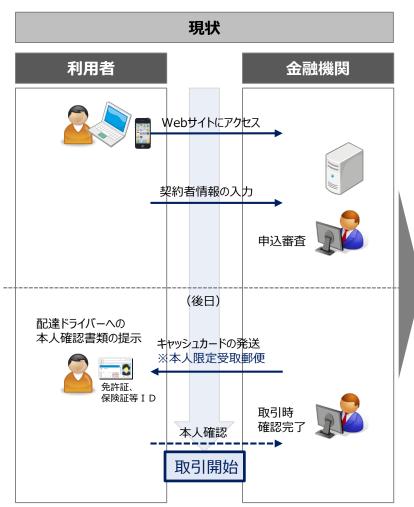
上述以外の他業界においても、同様のユースケースによるメリットが得られる可能性があると考えております。 次ページ以降に項番1,2,5について現状と利用後のユースケースイメージを示します。

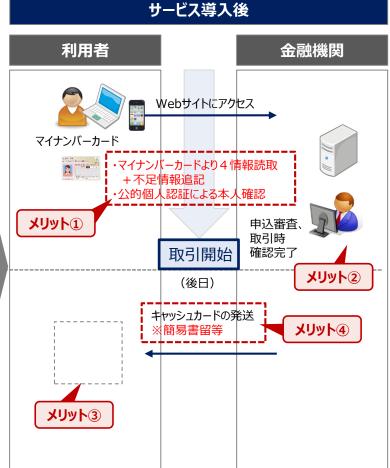
<ユースケース1> 口座開設本人確認



金融·証券

口座開設時本人確認 (インターネット口座開設)





メリット①

4情報を自動転記するため、入力フォームへの手入力が不要となり、 利用者の利便性向上につながる。

メリット(2)

オンラインで本人確認が完了するため、**手続時間短縮**のにつながる。

メリット(3)

本人確認は既にオンラインで確認されているため、受取時の確認は不要となり、 利用者の利便性向上につながる。

メリット4

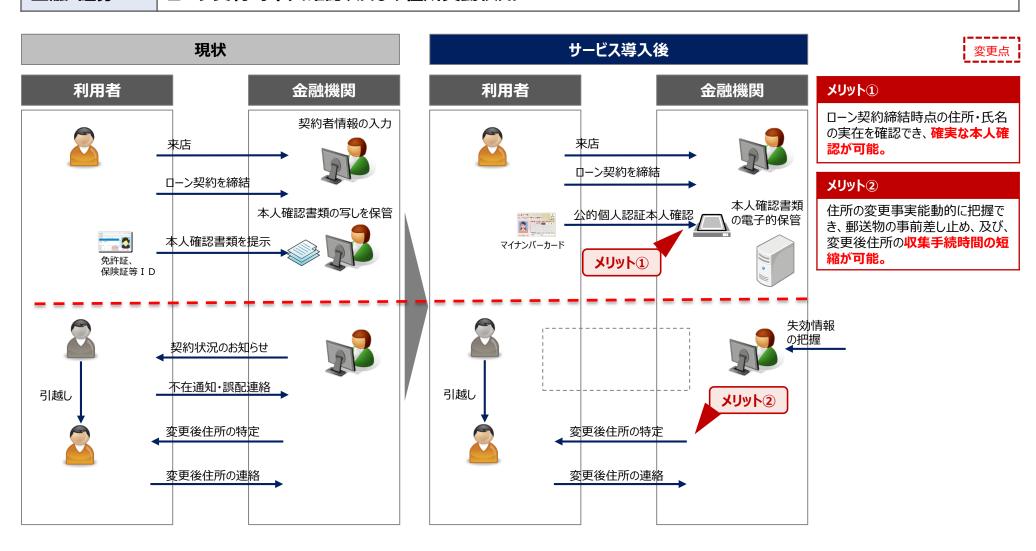
本人確認は既にオンラインで確認されているため、本人限定郵便での送付が不要となり、コスト削減につながる。

<ユースケース2> ローン契約時本人確認



金融·証券

ローン契約時本人確認、及び、住所異動検知

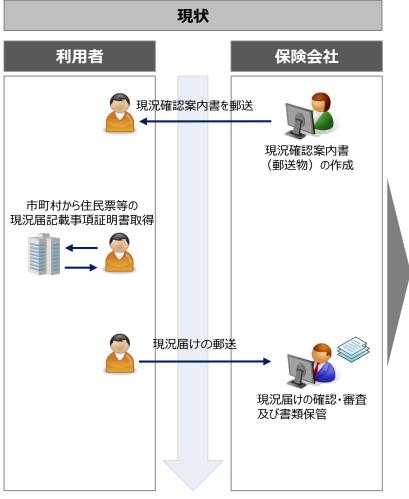


<ユースケース5> 個人年金保険 現況届



保険

現況確認

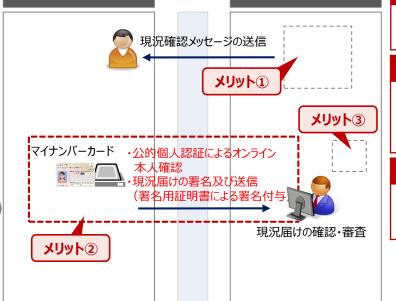




保険会社

利用者

変更点



メリット(1)

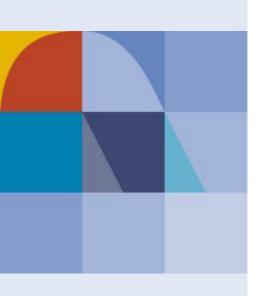
現況届けの郵送が不要となるため、 郵送**コスト削減**につながる。

メリット(2)

マイナンバーカード内の署名用証明書を利用することで、住民票等を別途取得する必要がなくなり、利用者利便向上につながる。

メリット③

現況届が電子化されることにより、 紙原本保管が不要となり、**コスト** 削減につながる。



NTT Data Global IT Innovator